

## YSFJH・学校生活

### 4月 校外宿泊研修

1年生は平成30年4月26日・27日の二日間にわたって、PAA21(Project Ashigara Adventure21)として足柄運動公園、足柄ふれあいの村で、2年生は4月22日から3泊4日の日程で宮古島において宿泊研修を実施しました。

1年生のPAA21は、自然の中でクラス全員が課題の解決に取り組む、コミュニケーションやチームワークについて学ぶものです。2年生の宮古島研修は、現地のさまざまなリソースを活用して、今後の課題探究につながる課題を発見するためのフィールドワークに加えて、民泊でお世話になった方々や宮古島市立砂川中学校のみなさんとの交流を目的としています。

YSFJHでは、これらの経験を教科等の学習との関連を図りながら、「サイエンススタディーズ」の課題研究に生かしていきます。



▲PAA21(1年生・足柄)



▲フィールドワーク(宮古島)



▲宮古島市立砂川中学校との交流

### 5月 コミュニケーション研修

1年生は平成30年5月25日に、これからの時代に求められる資質・能力の一つであるコミュニケーション能力の育成に向けて、専門家を招いての「コミュニケーション研修」を実施しました。生徒たちは、この研修で学んだ「聴く力」「質問する力」「伝える力」「気持ちのよいあいさつ」を大切に、日常の学習や生活の中で実践することを心がけています。

### 6月 体育祭

平成30年6月8日に中高合同で開催した体育祭では、中学生はクラスがそれぞれ3色のチームに分かれ、個人種目として「100m走・学級対抗リレー・二人三脚」のいずれかに参加しま



した。また、学年種目(中学種目)の「学級対抗8の字跳び」では、クラス一丸となって頑張りました。

◀学級対抗8の字跳び

### 9月 蒼煌祭(文化祭)

平成29年9月16日・17日の蒼煌祭(文化祭)において、附属中学校は370名収容の本校ホールで合唱祭を開催しました。客席を埋め尽くした聴衆の前でそれまでの練習の成果をいかになく発揮し、合唱の魅力と感動を伝えることができました。

教室では、サイエンススタディーズの時間に取り組んできた宮古島校外研修に向けての事前学習の展示と発表を行いました。真挚かつ明快な中学生「知の探究」の発表に接し、来場者のみなさんは「驚き」と「感動」を体験していただいたことでしょう。

### 開校2年目を迎えて



校長 栗原 峰夫

4月6日に横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校第2回入学式を、高等学校第10回入学式と合わせて挙行了しました。合同入学式は初めてのことでしたが、中高一貫教育校としての本校が目指している「融合」を意識する大切な式典となりました。私は式辞の中で、中高それぞれに学ぶべき先輩がいること、そして新入生には中高の垣根を越えての切磋琢磨が期待されることを伝えました。附属中2期生代表生徒の決意の言葉は、高校10期生のそれに勝るとも劣らない十分な内容と強い思いに溢れるものでした。

中高「融合」の考え方は、「YSFを、サイエンス(科学)を自分の軸にする才能ある多様な生徒たちが集う、質の高い学びの場にする」と平成21年の高校開校当初の理念に基づくものです。附属中1期生は学習や活動、行事を通して高校の先輩との切磋琢磨を経験し成長してきましたが、この4月の宮古島研修を経てさらに一回り大きくなりました。2期生はその先輩に学びながら、サイエンス生としての自覚を高めています。

本校が目指す「融合」は、一人ひとりの個性が結び付いて、問題解決力を高めることも目指しています。人間誰しも能力には限界があるのですから、足りないところは補い合えばよいのです。私どもYSFの教職員は一丸となって、生徒が他人を否定、排除することのない、互いの個性、多様性を認め合う学校づくりを進めています。